

Q&A（入学試験関係）

1. 大学入学共通テストで選ぶ科目は何ですか。

<p>入学者選抜要項のP10 ア 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目か、P19 別紙1-1を参照して下さい。学生募集要項（一般選抜）や大学案内（P30）にも記載しています。上記資料は本学HPにも公表しています。</p>	<ul style="list-style-type: none">●入学者選抜要項 P10～, P19～●学生募集要項（一般選抜） 11月上旬発行予定●大学案内 P30～
---	--

2. 大学入学共通テストでは何割得点していればよいのでしょうか。

<p>その年の志願者数、共通テストの平均点、志望者の得点により変化することが考えられますが、令和3年度入試の志願者数や合格者の平均点一覧等が大学案内に記載されておりますので、そちらを参照ください。</p>	<ul style="list-style-type: none">●大学案内 P32～
--	--

3. 大学入学共通テストと二次試験に向けてどのような勉強が必要ですか。

<p>○ 大学入学共通テスト 大学入学共通テストの方が配点が高くなります。特定の教科に偏ることなく、勉強することをおすすめします。</p> <p>○ 二次試験 専攻により教科試験（前期日程のみ）・実技検査（前期日程のみ）・面接に分かれます。教科試験における出題方針や実技検査の内容は入学者選抜要項に記載してあります。また、11月上旬発行予定の学生募集要項（一般選抜）にも記載されますので必ず確認してください。特に面接の内容は入学者選抜要項に記載していませんので、学生募集要項（一般選抜）で確認してください。</p>	<ul style="list-style-type: none">●入学者選抜要項 教科試験 P19 実技検査 P31～32●学生募集要項（一般選抜） 11月上旬発行予定
---	---

4. 大学入学共通テストの受験制限はありますか。

<p>数学の「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答できる者は、「高等学校又は中等教育学校において、これらの科目を履修した者（高等学校又は中等教育学校において専門教育を主とする学科等における専門教育に関するこれらの科目を履修した者）」などに限ります。詳しくは入学者選抜要項を参照してください。</p>	<ul style="list-style-type: none">●入学者選抜要項 P10～, 19～
--	--

5. 大学入学共通テストの科目で入学定員を二分することはありますか。

<p>文系、理系で定員を二分することはありません。また、大学入学共通テストの特定の科目を重視することはありません。</p>	
---	--

6. 大学入学共通テストを文系で受験して理系の専攻・分野に入学できますか。

<p>受験、入学することは可能です。</p>	
------------------------	--

7. 学校推薦型選抜（一般）ではどの点が重視されますか。また、調査書などで面接では大きな差が生じることがありますか。

学校推薦型選抜（一般）においては、芸術体育教育専攻以外の専攻は面接のみ、芸術体育教育専攻は実技検査と面接になります。実技検査の内容については入学者選抜要項に記載されていますが、面接の内容については9月下旬に発行される学校推薦型選抜（一般）学生募集要項で確認してください。なお、面接には口頭試問を含みます。どの点が重視されるかは、Q&A（入学試験関係）13. を参照してください。調査書については、記載内容に関する質問をすることがありますが、内容自体で大きな差が生じることはありません。

●入学者選抜要項
実技検査 P71～
アドミシヨナル・ポリシー P1

8. 試験会場について、入学を希望するキャンパスでしか受験できないのですか。

前期日程のみ、東北会場（仙台市）でも受験することができますが、芸術体育教育専攻と養護教育専攻は前期日程であっても札幌校で受験することになります。その他はすべて札幌校での受験になります。詳細については、後日発行される学生募集要項の「試験会場」の項目でご確認ください。

●入学者選抜要項
P5

9. 二次試験の専攻希望は1つしか選べないのですか（第二志望の出願はできますか？）。他のキャンパスの専攻と組み合わせることはできますか。

二次試験の専攻希望は、前期日程の一部の専攻のみ、第二志望まで選択できます。ただし、教科試験の受験教科によって、選択できる専攻が異なります。また、他キャンパスの専攻との組み合わせは出来ません。後期日程については、第一志望のみの選択となります。

●入学者選抜要項
P6～7

10. 一般選抜（後期日程）では、面接の配点が300点となっていますが、受験者で差が出ますか。

教職への意欲、目的意識、勉学意欲、専攻に応じた知識、能力等をはかるとともに、伝達能力、表現能力をみて判断しますので、受験者間で点数に差は生じます。

●入学者選抜要項
P19

11. 過去の面接試験の受験者の話を聞くと、内容や時間にかかなり大きな差異が見られたようですが、なぜそのような事が起きるのでしょうか。

面接の時間については、多少の差が生じることもありますが、受験者一人一人の面接にかかる時間はほぼ一定になるよう考慮しています。（ただし、障がいをもつ受験生に対しては、他の受験者よりも時間が長くかかることはあります。）内容については、調査書、推薦書等を見ながら質問をしていますので、内容に多少の差が生じることもあります。

12. 第二志望の受験生の成績が第一志望の受験生を上回っている場合はどちらが合格しますか。

第一志望、第二志望にかかわらず、総合得点の高い順に合格とします。ただし、第一志望、第二志望の両方に合格となる場合は、第一志望を優先させます。詳細は、11月上旬発行の学生募集要項（一般選抜）の合格基準をご覧ください。

13. 学校推薦型選抜（一般）における望まれる学生像とはどのようなものでしょうか。

『入学者選抜要項』に、各課程・学科ごとの「アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）」を掲載していますので、それが参考になります。
受験生はそれぞれの個性を持っており、各自の個性と意欲をできる限り汲み取りたいと考えます。大切な条件と考えますのは、志望領域についての強い意欲を持っているということです。もちろん、これに加えて、専門分野についての基礎知識を持っていることが望ましいということも言うまでもありません。

●入学者選抜要項
P1

14. 学校推薦型選抜（一般）の調査書の内容はどの程度反映されますか。

また、学校推薦型選抜（一般）の出願要件に「学習成績の状況3.8以上」とありますが、3.8をクリアしていれば、「5.0」の者も「3.8」の者も同様に扱われますか。

推薦書、調査書、自己推薦書、面接（口頭試問を含む）等により、総合的に判定します。

●入学者選抜要項
P51

15. 札幌校の学校推薦型選抜（一般）、一般選抜の令和3年度入試志願状況を教えてください。

大学案内を参照して下さい。

●大学案内
P32～33

16. 各専攻、分野のねらいを教えてください。

札幌校キャンパスガイドや大学案内などを参照してください。

●大学案内
P10～

17. 教員養成特別入試とはどのような入試なのか教えてください。

この入試では、教員になりたいと強く志望している受験生の資質を丁寧に見極めます。具体的には、「講義」を受講したうえで、「グループ討論」を踏まえて、「レポート」を作成していただきます。また、「面接」や一部専攻・分野で「実技検査」も行います。これは、単なる知識量だけでなく、思考力、判断力、表現力、主体性、協働性など、ペーパーテストだけでは測定できない側面や、これまでの活動や学習の成果も含めて、潜在的能力を丁寧にみていこうとするものです。

18. 教員養成特別入試は具体的にどのような試験を実施するのか教えてください。

教員養成特別入試では、大学教員の講義を受けた後、受験者（5名程度）でグループ討論を行っていただきます。講義・討論の結果を踏まえて、レポートを作成します。また、面接及び実技検査（一部専攻・分野のみ）を合わせて行います。
また、大学入学共通テストで本学が指定する科目・教科を受験する必要があります。

19. 新型コロナウイルス感染症対応について教えてください。

新型コロナウイルス感染症対応については、本学ホームページ「【重要】令和4年度入学者選抜における新型コロナウイルス感染症対応について」（<https://www.hokkyodai.ac.jp/exam/r04covid-19.html>）でお知らせしていますので、ご確認ください。

Q&A（教務関係）

1. 札幌校で各種教員免許状を取得するにはどの専攻が良いでしょうか。

○幼稚園教諭

各専攻において、副免（卒業要件以外に必要な単位を修得することで取得可能な教員免許）で取得することができます。

○小学校教諭

学校教育専攻及び特別支援教育専攻（2種免許）において主免（卒業要件を満たすことにより取得可能な教員免許）、言語・社会教育専攻英語教育分野及び養護教育専攻以外の専攻において主免として選択することが可能になっています。

また、それ以外の専攻に入っても、副免で取得することができます。

○中学校教諭

言語・社会教育専攻、理数教育専攻、生活創造教育専攻、芸術体育教育専攻において、主免として選択することが可能になっています。また、それ以外の専攻に入っても、副免で取得することができます。

○高等学校教諭

各専攻において、副免で取得することができます。

○特別支援学校教諭

特別支援教育専攻において主免で取得することができます。また、それ以外の専攻に入っても、副免で取得することができます。

○養護教諭

養護教育専攻において、主免で取得することができます。

※副免の場合、単位の修得状況によっては、4年間での取得が困難な場合もあります。

●大学案内
P8～9

2. 札幌校で取得できない教員免許状の種類は例としてどのようなものがありますか。

札幌校では、高等学校の書道・工芸の免許状は、取得することができません。

なお、高等学校の書道は旭川校、釧路校で、高等学校の工芸は岩見沢校で取得することができます。

当該免許状を取得するために必要な単位を修得することが必要です。

●大学案内
P8～9

3. 旭川校や釧路校との違いは何ですか。

教員養成課程3キャンパスで共通する部分も多くありますが、キャンパス毎に特色があります。

札幌校は、教科内容を学びつつ、多様な課題を解決できる創造的実践力の育成を目指し、総合的指導力を持った小学校・中学校の教員を養成しています。

旭川校は、中学校の教科内容の研究の充実をはかっており、教科教育を深く学び、教科の実践的な指導力を持った小学校・中学校の教員を養成しています。

釧路校は、へき地・小規模校教育など地域の特徴を踏まえた教育を学び、地域で活躍できる小学校・中学校の教員を養成しています。

●大学案内
P4, P6～17

4. 各専攻の履修内容はどのようなものですか。

詳細については、札幌校キャンパスガイド2022をご覧ください。

5. どの専攻に入っても卒業時まで何らかの教員免許状は取得できますか。
また、所定の単位を修得することにより現実的に取得できる免許状の種類も教えてください。

専攻毎に卒業要件を満たすことで取得可能な教員免許状（主免）が定まっており、最低1種類の教員免許状が取得可能です。卒業要件以外にも必要単位を修得できれば複数の教員免許状（副免）も取得可能です（札幌校キャンパスガイド2022のP.7をご覧ください。）。

また、「大学案内」の「取得できる免許状」の注意書きにあるように、時間割が重なる、教育実習先の受け入れ人数に限りがあるなど、取得可能な免許は所属する専攻・分野だけでなく取得しようとする免許の種類によっても異なります。

例えば、理数教育専攻では卒業時に（主免の場合）小学校教諭1種免許状又は中学校教諭1種免許状（数学又は理科）を取得できますが、高等学校1種免許状や、他の教科の免許については、所定の修学年限内に取得することができないこともあります。

（単位の修得状況によっては、4年間での取得が困難な場合もあります。）

なお、札幌校のほとんどの学生は、小学校及び中学校の1教科の教員免許状を取得して卒業しています。

●大学案内
P8～9

6. 専攻によって教員免許状の取りやすさは違いますか。

主免については卒業と同時に取得可能ですが、副免については、卒業要件（134単位）以外に単位を積み重ねる必要があります。取りやすさについては、どの専攻に所属して、どの教員免許の取得を希望するかによって異なりますので、一概には言えませんが、中学校1種免許状（各教科）を取得可能な方は、高等学校1種免許状（中学校と同じ教科）を比較的取得しやすいです。

7. 副免は何が取得できますか。副免を取得するには、履修する教科・科目が増えますか。

副免で取得できる教員免許の種類については、札幌校キャンパスガイド又は大学案内をご覧ください。副免の取得については、卒業要件（134単位）以外に単位を修得する必要がありますので、履修する教科・科目は増えることとなります。

●大学案内
P8～9

8. 教員志望ではなくても、教員免許を取るための科目を履修しなければならないのでしょうか。

札幌校に関しては、教員養成課程のため、卒業要件を満たすと同時に教員免許に必要な単位を修得するようにカリキュラムが組まれています。

9. 教員免許状について、どのようなものか詳しく教えてください。

高校などで普通科以外で行われる商業・工業・水産などの特別な教科の教員になるにはどの専攻に入ればよいでしょうか。

教員免許については「教育職員免許法第3条第1項」に「教員は免許法により授与された各相当の免許状を有する者でなければならない」と規定されており、教員になるためには教員免許状を取得する必要があります。教員免許状については、各都道府県の教育委員会で発行しており、卒業時に大学が取りまとめ教育委員会に申請します（一括申請）。

高校の普通科以外に授業が実施されている教科には、農業、工業、商業、水産、情報、福祉等の教科がありますが、札幌校については、これらの教科の教員免許状（工業除く）は取得できません。詳細は、キャンパスガイドのP.7を参照ください。

なお、本学では札幌校及び旭川校で「工業」の教員免許状が取得可能です。ただし、卒業要件以外に単位を修得する必要があります。

●大学案内
P8～9

10. 学校図書館司書教諭の資格取得について教えてください。

学校図書館司書教諭の資格を得るには、学校図書館司書教諭講習において所定の科目の単位を修得し、修了することが必要ですが、本学で開設する科目（授業科目：学校経営と学校図書館、学校図書館メディアの構成、学習指導と学校図書館、読書と豊かな人間性、情報メディアの活用）の単位を修得した場合は、講習において修得した科目の単位とみなされ、講習受講手続（受講申込みを行うだけで実際の受講は免除される。）を行うことにより修了証書が授与されます。

●大学案内
P8～9

11. 日本語教員養成について教えてください。

札幌校では、外国人に対する日本語教育の教員養成に関する科目（科目内容：言語と教育、言語、社会・文化・地域、言語と社会、言語と心理）が開設されています。日本語教育に関する基礎知識を得ようとする者、また、将来、日本語教員になろうとする者は、上記の科目の単位を修得することが望まれます。最低修得単位を満たした者には、申請があれば「日本語教員養成科目単位修得証明書」を発行します。なお、日本語教員には、国家資格のような基準はありません。札幌校が開設している日本語教員養成に関する科目は、文化庁が実施した日本語教員の養成に関する調査研究の報告書である「日本語教育のための教員養成について」の教育内容に準拠するものです。

●大学案内
P8～9

Q&A（学生生活関係）

1. 男子寮、女子寮は申し込めば必ず入寮できますか。

新入生用に空き部屋を用意していますが、入寮希望者数が空き部屋数を上回った場合は、経済状況、現住所等を基準にして選考します。
また、災害による被害に遭われた方については、優先的に入寮できるよう配慮しています。
※コロナウイルス感染症の状況によっては、入寮受付を見送る可能性があります。
申請前に募集の実施状況をご確認ください。

●大学案内
P40

2. 大学で民間のアパート等の斡旋は行っていますか。

大学で斡旋は行っていませんが、大学生協では合格者に対しアパート等の情報を掲載したカタログを送付しています。（契約等は直接不動産会社と行うこととなります。）

3. 奨学金について教えてください。

奨学金は、日本学生支援機構奨学金（貸与型（利子なし、利子付き）、給付型）のほか、地方公共団体や企業、財団法人で行っている奨学金制度（給付型又は貸与型）があります。
日本学生支援機構奨学金は、高校在学時に予約申込みができます。
なお、お住まいの市町村でも進学時に奨学生を募集しているところがあります。
また、本学の基金による事業として、成績優秀者に対する給付金（2年次以上）の支給等を行っています。

●大学案内
P39

4. 授業料減免とは何ですか。

令和2年4月から国の高等教育の修学支援新制度がはじまり、入学料と授業料の減免（免除または減額）と給付奨学金（原則返還が不要な奨学金）の2つの支援をあわせて受ける制度となります。
○文部科学省HP <https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

●大学案内
P38

5. 年間でどのくらいの費用がかかりますか。

年間にかかる費用は
授業料 535,800円
その他経費（専攻により、教材費等が若干異なります）
※入学時に入学料282,000円及び保険料4,660円（4年間分）をお支払いいただきます。

●大学案内
P38

6. どんなサークルがありますか。

札幌校では、体育系と文化系を合わせて60前後の部活・サークルがあります。（札幌校キャンパスガイドに昨年度の一覧がありますのでご覧ください。）

7. 自家用車で通学することはできますか。

通学距離が2キロ以上などの条件を満たせば、自家用車での通学は可能ですが、大学の許可が必要となります。	
--	--

8. 学内でパソコンの無線LANは使えますか。

パソコンの無線LANは、附属図書館と全ての教室で利用できます。また、食堂やホールの一部には携帯電話のWi-Fiスポットが設置されています。（現時点ではau, ソフトバンク, ドコモがあります）。	
---	--

Q&A（キャリア支援関係）

1. 教員採用試験等で不合格となってしまった場合は、卒業した後も何か大学からサポートはありますか。

卒業後もキャリアセンターで就職相談を受けることができるほか、各種セミナー、面接指導等を受講することもできます。キャリア支援システムに登録することにより、就職相談や面接指導の予約もシステムより行うことができます。（定員によっては出来ない場合もありますので、ご了承ください。）

●大学案内
P27

2. 教員や公務員、民間企業への就職率を教えてください。

令和2年度卒業生の進路状況や就職率については、下記のとおりです。ただし、これは5月1日現在の数字で、教員は最終的にほぼ100%になります。また、就職率には正規採用だけではなく、臨時採用も含まれています。

●大学案内 P22-25
●札幌校キャリアサポート
P32

<全キャンパス>

令和3年5月1日現在

区分	課程名	卒業者数	就職									進学	未就職	その他
			教員			公務員			民間					
			志望者数	就職者数	就職率	志望者数	就職者数	就職率	志望者数	就職者数	就職率			
教員養成課程	教員養成課程	747	468	461	98.5%	88	85	96.6%	132	124	93.9%	42	18	17
教員養成以外の課程	国際地域学科	275	50	48	96.0%	52	52	100.0%	149	145	97.3%	12	6	12
	芸術・スポーツ文化学科	177	23	22	95.7%	21	21	100.0%	105	102	97.1%	11	4	17
	計	452	73	70	95.9%	73	73	100.0%	254	247	97.2%	23	10	29

<札幌キャンパス>

令和3年5月1日現在

	卒業者数	就職志望者数	就職者数	就職率	進学	未就職	その他
教員	276	171	168	98.2%	21	10	5
公務員		24	21	87.5%			
民間		55	51	92.7%			
計		250	240	96.0%			

3. 就職指導体制・就職ガイダンスについて、具体的に教えてください。

5キャンパス全てにキャリアセンターを設置し、皆さんの就職活動をサポートするための各種講座やガイダンス、進路相談等を行っています。

まず、新入生ガイダンスを皮切りに、1年生のうちから自分の大学生活と卒業後の進路を想定し、将来の目標を持ち、自らの計画をたてること、教員・社会人に向けての心構えなどについてキャリア相談員がお話しします。

また、各校独自で教員・公務員・民間等の進路希望先に応じた就職支援講座を実施しており、大変好評を博しています。

他にも全キャンパスをオンラインで繋ぎ、キャリア支援講座や各教育委員会、官公庁説明会などを開催。その内容は多岐に渡っています。

●大学案内
P26-27
●札幌校キャリアサポート
P32

4. 就職指導の基本的な方針について、教えてください。

<p>学生と教職員との対話を重視し、適切かつ親身な対応と安心して就職活動ができる環境を提供することです。</p> <p>1・2年生のうちから、いかに就職に対する意識の高揚を図ってもらうかということと、3・4年生に対して、各種試験に対応したより実践的なガイダンス等を準備すること、私たち教職員と対話しやすい状況を作り、多様な就職相談に適切かつ親身な対応を図るなど、安心して就職活動のできる環境を提供することが重要であると考えています。</p> <p>学生が、希望する職業に就けることを目指し、教職員の就職支援の質を高める努力をしながら、就職相談窓口を含めた就職支援体制を充実・改善していくことが必要だと考えています。</p>	
---	--

5. 教員採用試験及び臨時採用のスケジュールについて、教えてください。

<p>北海道・札幌市の教員採用試験については、4月中旬～下旬に願書の配布が開始され、6月下旬に一次試験、8月上旬に二次試験を実施し、最終合格発表は10月中旬になります。</p> <p>臨時採用に関しては、キャンパス毎に臨時採用を希望する学生向けに説明会を開き、また、全キャンパスをオンラインで繋ぎ、札幌市教育委員会の臨時採用説明会も開催しています。その後、希望学生は各自履歴書等を各教育委員会に提出し、2月～3月頃から順次臨時採用の案内があり、採用されていきます。</p> <p>ただし、臨時採用は3月中にすべて決まるものではなく、さらに希望者全員が採用されるとは限りません。</p>	
--	--

6. 授業を受けていれば、教員になれるのでしょうか。また、教員採用試験に合格することができるのでしょうか。

<p>授業は、教員に必要な知識や技術等を体系的に身に付けるものであり、受けていれば必ず教員採用試験に合格できるというものではありませんが、他の大学よりも授業内容が試験と重なるものが多いので、試験対策には有利になります。</p> <p>実際に教員になった卒業生にアンケートを取ると、大学の授業やゼミの内容が役に立ったという回答も多くみられます。</p> <p>したがって、授業を受けることはもちろんですが、併せて試験用の対策は別途必要となりますので、学内の就職支援講座等をしっかり受講し、万全の体制で臨むことをお勧めします。</p>	
---	--

Q&A（留学関係）

1. 毎年、海外へ留学する学生がいるが、定員はありますか。

本学の国際交流協定校への交換留学については、協定校ごとに年間の受入・派遣上限数が決められており、その人数内で派遣しています。

2. 在学中に海外へ留学できますか？

できます。
 本学は14か国・地域35校の大学と国際交流協定を締結しており、在学中に海外の協定校へ交換留学することができます。
 各協定校へ交換留学できる人数は、1校あたり1名から7名（年間）で、期間は半年から1年間です。
 また、これ以外にも、いくつかの協定校等が実施する、2～4週間程度の短期プログラムに参加することも可能です。
 新型コロナウイルス感染症の影響により、留学できない場合があります。
 （以下に示す派遣実績のうち、令和2年度分はすべてオンライン留学です。）

実績等は下記の通り

【交換留学プログラム海外派遣実績（5キャンパス）】

年度	学生数
平成28年度	28名
平成29年度	47名
平成30年度	42名
令和元年度	37名
令和2年度	2名

【短期プログラム】

プログラム名	派遣可能人数
韓国・釜山大学校サマープログラム(前期)	人数制限なし
韓国・漢城大学校サマープログラム(前期)	人数制限なし
米国・ワシントン大学語学プログラム(前期)	20名程度
米国・南ユタ大学短期プログラム(前期)	10名程度
中国・瀋陽師範大学短期派遣プログラム(後期)	10名程度
台北市立大学海外教育体験プログラム(後期)	5名
オーストラリア・シドニー工科大学付属語学センターインサーチ短期英語プログラム(後期)	10名程度
カナダ・カルガリー大学教育事情短期研修プログラム(後期)	各校2名まで(全学で10名まで)
ラオス教育体験プログラム	未定